

グループワーク	事前課題	特別な持ち物
○	×	×

## 管理職候補・係長のための管理職養成講座

<b>講座時間/受講料</b>
10:00~16:30 (2日間) /会員 1名 : 52,800 円 (税込)、一般 1名 : 105,600 円 (税込)
<b>講師名</b>
デロイト トーマツ ビテク 講師 岩見 俊哉 氏
<b>対象</b>
管理職候補・係長
<b>ねらい</b>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・管理職になる準備として、役割と責任、あるべき姿を考え、マネジメントの基礎を演習を通して学びます。</li> <li>・管理職として部下・後輩の育成、組織の活性化に必要となるコミュニケーション力、面談力を身につけます。</li> <li>・問題解決について学び、自分が管理職になるために課題となることを明確にしていきます。</li> <li>・自己課題への取り組みを行動計画に落とし込み、講座後に各自で実践していただきます。</li> </ul>

講座カリキュラム	
<p>【1日目】</p> <p>1. オリエンテーション          ・講師自己紹介 ・2日間での目標設定 ・自己紹介</p> <p>2. 管理職の役割と責任          ・仕事の現状 ~現在の立場での仕事の現状を考える。立場の理解の重要性。          ・役割とは何か? 責任とは何か? 言葉の意味づけを考える          ・管理職と非管理職の役割の違いとは</p> <p>3 管理職のあるべき姿を考える          ・自社での管理職のあるべき姿について考える          ・グループでシェア ~いろいろな考え方があることを知る          ・「頼りになる管理職、任せたい管理職、一緒に仕事をしたい管理職」とは調査結果等を踏まえて説明。          ・あるべき姿と現状のギャップを確認する。</p> <p>4 マネジメントの基本を学ぶ ~コミュニケーションの基本          ① シンプルに伝える。シンプルに聞く。(論理的思考力の基礎)          ・演習 (伝える・聞く) 論理的な伝え方とアクティブリスニング ・気づきのシェア          ② 部下に信頼されるための鉄則 (give と 4 つの承認 存在、行動、結果、成長)          ・演習 (相手を承認する、変化に気づく) ・気づきのシェア          ③ 面談力を圧倒的に上げる          面談は上司が部下のできていないことを指摘するのではなく、部下の成長のためにサポートすることが目的          ・演習 (面談) ・気づきのシェア</p> <p>5. コミュニケーション力をアップデートする          ・起こり得る課題とは? ~コミュニケーションエラーによる課題          ・コミュニケーションを科学する          (自分のタイプ、相手のタイプ、タイプの違う人とのコミュニケーション)          ・気づきのシェア</p> <p>6. 問題解決への心構え          ・問題とは何か? ・問題発見の方法          ・問題との向き合い方          ・解決 実行のポイント          ・気づきのシェア</p> <p>7. 1日目のまとめと1アクションの実践</p>	<p>【2日目】</p> <p>1. 1日目の振り返り          ・昨日学んだことを振り返る          ・大人の学習とは? ~大人は必要なことだけしか覚えられない、勉強しない。だからアンテナを高く持つことが大切。</p> <p>2. リアルケース演習          ・自分の組織におけるマネジメント課題を上げる (過去の経験でも OK)          ・何が問題なのかを分析する ~問題の発見から分析の仕方          ・自身が管理職であったら、どのような解決策を考えるか? をアウトプット          ・グループ内フィードバックの実施 ・解決策のブラッシュアップ          ・全体シェア (一部)</p> <p>3. 組織文化における管理職の役割とは何か?          ・伝言ゲーム・伝言ゲームをしないためには? 自分の持論を持つとは?          ・メンバーにも評価される時代 ・組織文化が強い他社事例</p> <p>4. まずは自分が実践!          ・半年後、3ヶ月後、1ヶ月後のチャレンジを設定          ・成果指標を設定する ・グループ内シェアとメンバーからのフィードバック          ・チャレンジの修正</p> <p>5. チャレンジ宣言          ・自分のチャレンジを宣言する</p> <p>6. メンバーフィードバック          ・グループ内メンバーに対して、2日間のフィードバックの実践</p> <p>7 振り返り          ・2日間通しての気づきとは何か?          ・講師からのメッセージ</p> <p>※各項目ごとの講義は、事例研究、ゲーム演習、グループ討議等を交えて交流参加型で進めます</p>